



品川・生活者ネットワーク NEWS No.126

2022.2/1

コロナ禍で中止になっていた羽田新ルート中止を求めるパレードが140名を超える方が参加して行われた。出発前のミニ集会でアピールをする田中さやか(右)と吉田ゆみこ(左) 2021年12月12日しながわ中央公園



昨年はオンラインで行われた成人式だが、今年は2部制で開催された。恒例の成人式の日区政報告会では、新成人からの要望の声を聴くこともできた。2022年1月10日大井町駅

区政 NOW

ゲノム編集トマト苗、小学校への無償配布に異議あり!

品川・生活者ネットワーク 区議会議員 吉田ゆみこ



国は他の生物の遺伝子を挿入する遺伝子組み換え技術とは異なるとして、安全性の審査も表示義務などの規制もせずに、栽培と販売を解禁し、2021年には家庭菜園用に、ゲノム編集トマト苗をモニター用に一般に無料配布。さらに2022年に介護施設、2023年に小学校に無償提供するといえます。

ゲノム編集はアレルギーなど、体や生態系への影響も検証されておらず重大な課題があります。遺伝子操作作物の問題点を知らない子どもたちにも、安全性も確認しないまま栽培させるのは許されません。区教委は無償配布すべきではありません。

今、急ぐべきは区庁舎建て替えではない!

2011年に耐震化工事を終えた現区庁舎にはあと15〜16年の耐用年数があります。ところが区は、広町地区のJR東日本の再事業開発に併せて、品川区が再開発地区内に持つ土地と現区庁舎に隣接するJR東日本の土地を交換し、そこに新区庁舎を建てるというのです。想定する総床面積は60、

000㎡、予算規模は400億円、着工は2025年。計画はどんどん進み、新庁舎基本構想の検討を終え、整備基本計画の議論に移っています。議会機能については区議会での議論が進行中です。

しかし、行政機能のデジタル化が急速に進もうとしている現在、庁舎に求められる機能は大きく変わるはず。計画は拙速に進めず、今は財源も労力も新型コロナウイルス対策と区民生活の立て直しに集中すべきです。

検討会は品川区民には、固定化する会ではない

昨年12月10日、羽田新飛行ルートの固定化回避検討会の検討状況を聴く会を、品川区議会主催で開きました。

品川区民最大の関心事は「いつ、品川上空の低空飛行が無くなるのか?」であり、「その検討がどう進んでいるのか?」です。しかし国は、検討の意味を何も示しませんでした。本区上空を避ける案を説明できないのです。品川上空が航路になつていくのか否か、現時点で検討中の飛行経路案を地図上に表すことを求めました

あなたのひとことをお寄せください
地域のみなさまの声から私たちの政策は生まれます。
・こんなこと直してほしい。なんかこれ変だよな。
・ひとこと提案を ポストに
・具体的な提案にまとめて、議会や予算要望に盛り込み、市民の政策提案を行います。

あなたの声を区政へ

生活の中で感じる疑問・困難、こんな街にしたいご提案など、何でもご自由にお書きください。明日の区政にあなたの声を生かします。



「検討会の結論はいつごろ出すのか?」どんな会議であっても、結論を出す時期はあらかじめ決められているはず。そんな当然の質問にも答えない国交省。何人かの議員がいろいろな角度から質問を試みるも、明確な答えはなし。「検討会開催」を隠れみのに現状を「固定化」しようとする意図だけが明らかになった。2021年12月10日国交省に質疑する吉田ゆみこ(前列中央)と田中さやか(左)

「不正確な情報は出せない」の一点張り。これでは「固定化回避検討会」は品川区民にとって「今」の飛行経路を固定化する会です。やはり、元の海上ルートに戻すしか道はありません。

コラム

2022年度品川区予算への市民からの提案を提出

区民の皆さんからご意見をいただき、次年度予算への政策提案を濱野区長に提出した。

提出に際して行った意見交換では参加者が直接要望を伝えた。「契約案件が募集期間を過ぎると削除される」「福祉制度を勉強しているが、制度にある機能が区どこにあるのかわからない」等、区HPの改善を求めた。また校庭や園庭の人工芝の是非について声が上がった。教育委員会は校庭整備のタイミングで人工芝化を推奨。人工芝について、「冬は特に乾燥で静電気が発生して痛い。炎天下では熱が蓄積され、やけどが心配」「劣化して飛散

するマイクロプラスチックを子どもたちが吸い込むので危険」「町会の夏祭りの花火ができなくなった」等々声がある。学校で決める前に声を聴いてほしいという要望に、企画部長からは「人工芝のご意見は関係部署に伝える」と回答があった。

以前は『タウンミーティング』という、区長と区民が意見交換できる貴重な機会があったが、2017年突如終了した。このような機会は必要だ。品川・生活者ネットワークは今後も行政と直接意見交換をする場を設けていきたい。右記のひとこと提案ハガキを活用してほしい。

編集後記/感染症が再拡大している。これまでの2年間で生活困窮に至った人々がさらに追いこまれてしまうのではないかと懸念する。政治が第一に専念すべきことは市民の命と生活を守ることだと考えるが、国政、都政、区政では市民の生命・生活は後回しにされているのではないかと不安になる。今年は参議院議員選挙、品川区長・区議補欠選挙が予定されている。希望が持てる政治を実現させたい。(田中さやか)

ありがとうございました。